

議 事 録

1. 会議の名称 池田市文化財保護審議会
2. 開催日時 令和5年1月26日(木)
13時30分～15時00分
3. 開催場所 西光寺 池田市新町1-1
4. 出席者
〈委員〉(敬称略)
仙海義之・吉田高子・印藤和寛・金子丈雄
室田卓雄・藪元晶・吉原忠雄

〈事務局職員〉
田渕教育長・亀井教育次長兼管理部長・大賀教育部長
大谷教育部次長兼教育政策課長・細谷歴史民俗資料館長
前野生涯学習推進課長・中西生涯学習推進課主幹
高野生涯学習推進課主幹
5. 開会
教育長挨拶
会長・副会長の選出
会長：仙海委員を委員が推薦、委員全員承認。
副会長：吉田委員を会長が指名、委員全員承認

事務局の紹介

会長挨拶

令和4年度の文化財保護等事業の概況
事務局より報告
令和5年度の文化財保護等事業の予定
事務局より報告
西光寺仏像について
吉原委員より報告
その他
6. 委員からの意見・質問
(市指定文化財 桃田伊信「松林図屏風」(歴史民俗資料館蔵)の修復について)
歴史民俗資料館 昨年度審議の松林図の修復について、事業予算の内示があり、3月の議会の議決を得て、来年度より5か年計画の予定で修理業者を決めていこうと考えている。

会長の意見 5か年計画ということから、それぞれの段階を確認できると思う。以前に拝見したが、どういう作品か、なかなか外見からは情報量も少ないのでわからないが、中の素材をあらためたところで、ほぞとかが出てきて、年代決定の参考になる。実施する場合は、修理業者と連携して、さらに、その資料価値を高めていただくような修理作業を行ってほしい。

(文化財説明板について)

委員からの問い 文化財説明板修理は来年度どれくらい見ているか。

生涯学習推進課 予算内示の範囲で、2本くらいと考える。所有者と協議し、一部、費用負担してもらい本数を多くはしたい。

委員の意見 説明板はきれいになっているが、10年から20年前のものは傾いているものがある。寺社独自設置の説明板の方が、きれいで、市の方が貧弱なのがある。ぜひ、年に4～5本は交換。予算を頑張ってもらいたい。できるだけ同じような形で願いたい。池田城主のものは、五輪塔の前にあって写真が撮りづらい。建てる位置も考えてもらいたい。

生涯学習推進課 形式は、カラーの写真付きである。大広寺の池田城主の墓に設置した説明板の形式をこれから継続していく。

会長の意見 継続して、着々と進めていただくことが大事。歴史文化基本構想も策定し、その実践として、例えば、文化財公開ウォーキングとか、市民、市外の方々も含めて、池田市の文化財を紹介する機会をもうけている。こうした基盤整備で、指定文化財解説板がある。何か特別な歴史文化基本構想を実現する事業として、一気にとは言わないけど、別の視点から着々と年次計画で積み上げ、別の計画で進めればと思う。

(西光寺の仏像について)

委員からの問い 仏像は全部調査したのか。徳本さん(徳本上人)は？

報告委員 全部調査した。徳本さんもあったが、今回は省く。年号もあった。

会長の意見 本尊台座の寄進者の渡辺宗徹は興味がある、西光寺の涅槃図や堂ができるときは、西光寺あたりは当時池田の酒造り等で盛んであったと思う。財力がある人が来ている。

報告委員 池田のまちができてきている時代なので、いろんな職業の人が来ている。末寺が6寺ある。元禄9年に芝増上寺に由緒書きを提出しており、その際、6寺も出している。末寺を持った中本山で間違いないと思う。そのころ、西光寺はかなり隆盛であったのではないか。

会長の意見 文化財だけの単体の特筆ではなく、西光寺の歴史でもあり、池田市の歴史を証明するような文化財であると思う。保存と活用に、私どもでも注視したい。平安仏は吉祥天と思うが、台座は別物？

報告委員 台座は新しい。

会長の意見 雲が湧いている台座の表現は、吉祥天ではないため、後日のものとする。

報告委員 おとなしいので、吉祥天でいいのではないかな。

(荒木適翁・蘭阜の墓について)

委員の意見 資料で荒木村重が出ていたが、戦前、市役所あたりは荒木町と言われ、線路の近くに、村重塔の小さな塚とお堂があり、お堂は今、資料館の前に移されている。荒木村重は池田と、かかわりがあると思うが、文献的に見たことがない。大広寺に荒木適翁の墓碑があって、荒木家は荒木村重の子孫であると銘記している。唯一の池田と荒木村重の関係を示す資料である。適翁の家は鍵屋と呼ばれた酒造りの家、適翁の養子にきたのが蘭阜で、荒木家の菩提寺が西光寺である。無縁で荒木適翁の墓が大広寺にあり、蘭阜の墓は西光寺にある。ぜひ保存を願いたい。

会長の意見 蘭阜は市史などに載る江戸時代の歴史の人物である。墓は砂岩で保存は難しいが、何とか保存活用に導けたらいい。

生涯学習推進課 西光寺の荒木家の墓は、住職のご厚意で、本堂改修の際、雨のかからない場所を作り、移す予定。

会長の意見 貴重な文化財であり、候補にもあわせて展開していただきたい。

(西光寺の本堂について)

副会長の意見 本堂について昭和60年ころに調査されており、今回再調査したが、前回とはほとんど変わらない。棟札が残っている。本来の縁は正面と両側にあったが、現在は正面と片側のみになっている。細部の紋様は当時のものが残っている。

7. 公開・非公開の別 公開

8. 傍聴者数 2名